

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和3年1月21日)

ページ

- 1 移住定住の促進に向けた取組状況について
【ふるさと人口政策課】・・・2
- 2 関係人口の拡大に向けた取組状況について
【ふるさと人口政策課】・・・3
- 3 観光・宿泊事業等に関する新型コロナ対策連携協議会の開催結果について
【観光戦略課】・・・4

交流人口拡大本部

移住定住の促進に向けた取組状況について

令和3年1月21日
ふるさと人口政策課

鳥取県内の市町・企業が集う最大級の移住・就職イベント「IJUターンBIG相談会オンライン」を開催し、移住希望者・移住潜在層への働きかけを行いました。今後も、オンラインを活用しながら、子育て環境の素晴らしさや豊かな自然の中での密にならない暮らしなど、本県の魅力を発信していきます。

1 IJUターンBIG相談会オンライン

(1) 日時 令和3年1月16日(土)・17日(日) 正午から午後5時まで

(2) 概要

- ① 先輩移住者によるとっとり暮らしセミナー、就活セミナー、県内市町・企業等による紹介等のライブ配信
- ② オンライン上での移住・就職・就農林漁業等相談と、企業の人事担当者との面談

(3) 参加団体 18市町、7団体(就農林漁業等関係)、34企業

(4) 来場者 105組(2日間)

- ・ コロナをきっかけに漠然と移住を考えるようになり、情報収集のため参加。相談員の方に、住まいの探し方からご近所との接し方まで質問でき参考になった。(40代・女性・東京在住)
- ・ コロナ禍で現地に足を運べない中、自宅にいながらにして、企業や先輩移住者のリアルな体験談が聞けた。セミナーでは全参加市町の説明があり、それぞれの市町村の特徴も分かったので、移住地の検討材料にしたい。(20代・男性・大阪在住)

イベント交流ページ



就活セミナーの様子



2 今後の主な移住促進イベント

オンラインを活用した移住セミナー等を毎月1~2回開催するとともに、東京・大阪の各窓口においては、随時、対面での相談を受け付けるほか、出張相談会やナイター相談会を実施する。

- 2/20(土)・3/27(土) オンライン鳥取来楽暮カフェ(地域別セミナー)
- 2/28(日)・3/6(土) とっとり移住Web休日相談会(テーマ別セミナー)

(参考)2021年版 住みたい田舎ベストランキング(宝島社『田舎暮らしの本』)について

田舎暮らしに関する月刊誌『田舎暮らしの本』(宝島社)2月号「2021年版 住みたい田舎ベストランキング」(令和3年1月4日発売)で、鳥取市が「大きな市(人口10万人以上)」の『若者世代が住みたい田舎部門』で3位、『子育て世代が住みたい田舎部門』4位、『総合部門』7位を獲得し、全ての部門で20位以内に入り、移住先としての鳥取市の高評価が定着しました。

このほか、北栄町が新設された「町」の『総合部門』10位となるほか、米子市・倉吉市・岩美町・智頭町・若桜町・琴浦町・湯梨浜町も各部門でランクインする等、多くの県内自治体の取組が評価を受けています。今後も、引き続き市町村と連携した移住定住促進の取組を推進します。

区分	大きな市 (人口10万人以上)	小さな市(※注) (人口10万人未満)	町(※注)
総合部門	● 鳥取市 7位 ↓ (←前年2位) ● 米子市 39位↑	● 倉吉市 24位↓ (←前年19位)	● 北栄町 10位 ↑ ● 湯梨浜町 13位↑ (←前年70位) ● 琴浦町 24位↑ ● 智頭町 29位↑ (←前年42位) ● 若桜町 43位↑ ● 岩美町 45位↑ (←前年48位)
若者世代が 住みたい田舎部門	● 鳥取市 3位 ↓ (←前年2位) ● 米子市 20位↑	● 倉吉市 13位↑ (←前年14位)	● 北栄町 22位↑
子育て世代が 住みたい田舎部門	● 鳥取市 4位 ↓ (←前年1位) ● 米子市 19位↑	● 倉吉市 13位↓ (←前年12位)	● 岩美町 13位↑ ● 智頭町 28位↑
シニア世代が 住みたい田舎部門	● 鳥取市 15位↓ (←前年14位)	● 倉吉市 9位 ↑ (←前年10位)	● 湯梨浜町 10位 ↑ ● 北栄町 30位↑

・アンケート調査に回答した645市町村を、9ジャンル・272項目と移住者人数を点数化して順位付け
(※注)前年までの「小さなまち」の区分を分割し、今回から「小さな市」「町」「村」の3区分を新設

関係人口の拡大に向けた取組状況について

令和3年1月21日
ふるさと人口政策課

若者の県内定着、就職について情報共有を図るとともに、相互連携、協力等により実効性のある取組を一層推進するため、関係機関による「学生等県内就職強化本部」の本部会議を開催しました。

また、オンラインを活用して県内外の学生や社会人がつながる「とっとりオンラインコミュニティ」交流会を開催し、関係人口の拡大・創出に繋げる取組を実施しました。

1 学生等県内就職強化本部会議(オンライン)

- (1)日 時 令和2年12月21日(月) 午後1時30分から3時まで
(2)概 要 報告事項(学生定着状況、ふるさと鳥取アプリ「とりふる」進捗状況、
学生支援の取組状況)
意見交換(学生等県内就職強化に向けた意見交換、今後の展開)



(3)参加者

鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県経営者協会、鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、鳥取看護大学、米子工業高等専門学校、ふるさと鳥取県定住機構【オブザーバー】鳥取市、岩美町

【県関係】統轄監、交流人口拡大本部、子育て・人材局、商工労働部、教育委員会事務局

(4)主な意見等

○学生等の県内就職強化に向けて

- ・コロナ禍で、学生からのエントリーが増えた県内企業もある。県内就職のメリットや交通の利便性等を打ち出しIJUターンを進めてほしい。特に関西圏に力を入れてほしい。(鳥取県経営者協会)
- ・インターンシップ等、低学年から県内企業を知る機会が重要である。(鳥取大学・公立鳥取環境大学)
- ・オンラインでの合同企業説明会やインターンシップについて、ノウハウが十分でない県内企業もあるため、引き続き県の支援をお願いしたい。(鳥取県商工会議所連合会・鳥取県商工会連合会)

(5)学生等県内就職強化本部の今後の展開

- ・市町村等の就活情報等を集約し、「とりふる」で一元的に情報発信するプラットフォーム化を推進する。
- ・「とりふる」登録促進及び活用促進のため、県内就職する学生を対象としたキャンペーンを展開する。

2 「とっとりオンラインコミュニティ」プレゼン交流会

- (1)日 時 令和2年12月18日(金) 午後6時30分から8時まで
(2)概 要 学生によるプレゼンテーション、参加者の交流・意見交換
＜プレゼン企画・提案学生＞

- ①中高生へのキャリアデザイン支援、幅広い世代の交流機会創出(広島大学3年生)
- ②子ども・高齢者への食を通しての支援(鳥取大学3年生)
- ③学生の地域活動拠点づくり、耕作放棄地の支援を通じた交流機会創出(鳥取大学1年生)
- ④鳥取県内の飲食店の応援&子どもたち・高齢者の方への支援(岡山大学3年生)

(3)参加者 鳥取県内外の大学生、高校生、教員、社会人等 約50名

＜参加者の声＞

- ・熱い思いを持った方々の話を聞き、是非自分も参加したいと思った。(学生・男性)
- ・意欲ある学生の姿を見ることで、今後の動機付けになった。(社会人)

(4)今後の展開

- ・各企画ごとに、引き続き社会人等のアドバイスをもらいながら、実現に向けた取組を進める。

(5)オンラインコミュニティの概要

構成	・学生(企画提案学生及び参画学生)、県内社会人等
メンバー	・主催者等(鳥取県、(公財)ふるさと鳥取県定住機構、鳥取大学、Lifefix 合同会社)
活動方法	・ZOOMでのオンライン交流会、Facebook上のオンラインコミュニティでの情報交換

観光・宿泊事業等に関する新型コロナ対策連携協議会の開催結果について

令和3年1月21日
観光戦略課

国の観光需要喚起策のGoToトラベル事業が、12月28日から全国一斉で一時的に停止され、緊急事態宣言の発令に伴い停止期間が延長（～2/7）される状況の中、今後の本県の観光施策を検討し、時機を逸することなく対策を講じるため「観光・宿泊事業等に関する新型コロナ対策連携協議会」を設置することとし、第1回会議を開催しました。

1 協議会設置の目的等

国のGoToトラベル事業の全国一斉一時停止に伴い、キャンセル等の影響が出ている中、今後の本県の観光施策を検討するため。

＜検討項目＞県内観光の現状把握と今後の観光対策の検討等

2 第1回会議の開催結果

(1)日時 令和3年1月18日（月）午後3時～4時

(2)場所 県庁災害対策本部室（第2庁舎3階）、中部・西部からリモート参加

(3)出席者

所属	役職名	氏名
鳥取県観光連盟	会長	河越 行夫
鳥取温泉旅館ホテル組合	組合長	小谷 文夫
三朝温泉旅館協同組合	理事長	沖田 雅浩
皆生温泉旅館組合	組合長	柴野 清
鳥取県観光施設連絡協議会	会長	川口 博樹
鳥取砂丘アクティビティ協会	代理出席	長谷川 浩司
日本旅行業協会中四国支部鳥取地区会	委員長	林 勇一
全国旅行業協会鳥取県支部	理事	清水 鉦一
鳥取県バス協会	理事	澤 耕司

鳥取市、倉吉市、境港市、大山町、鳥取県の観光・商工担当部局

(4)意見交換の概要

ア GoToトラベルへの対応、本県の緊急支援策等を説明した後に意見交換を実施。

イ 事業者からの主な意見

- ・GoToトラベルの一時停止に伴うキャンセルが非常に多く、影響が甚大である。
- ・雇用維持のため、2月末となっている雇用調整助成金（特例措置）の延長を要望する。
- ・これまで対策資金を活用してきたが、返済が必要である。
- ・制度融資以外の支援スキームを検討いただきたい。
- ・まずは新型コロナを収束させ、その後、WeLove鳥取キャンペーンの再開をお願いしたい。また、地域の食を活かしたイベント等に対する支援をお願いしたい。
- ・貸切バス、高速バスの利用客も大幅に減少しており、交通事業者に対する事業継続支援をお願いしたい。
- ・GoToトラベル終了後の取組（サイクリング等の本県の魅力を活かした誘客、平日の利用促進、持続可能な観光地づくり等に対する支援等）を検討いただきたい。